

967回 2013.2.4

「四つのテスト」の唱和



武田(孝) 会員

本日のお客様

国際ロータリー第2790地区	寄付金担当
ロータリー米山記念奨学会委員会	時田 清次 様
米山奨学生	イピュサン 様
船橋西RC	相川 信善 様
大功自動車興業	王 海燕 様

会長挨拶

山本 成人 会長



みなさん今晚は！
まず、最初に報告です。

先週開催された、ガバナー訪問ですが、ガバナーより幾つかの指摘はありましたが、滞りなく終了することができました。ここに改めてお礼を申し上げます。

得意ガバナーは非常に温厚な方で、且つ、ロータリーを熟視している方だと見受けました。そして、有言実行をなさる方でした。

一つ紹介をすると、得居ガバナー年度は経費削減を示唆していました。

結果として、地区負担金が、クラブ会員1名当たり、5,000円減額され、当クラブとしては33名なので165,000円の支払いが免除になりました。また、浮いた負担金の話の後、話された言葉で初心に戻られました。その言葉は、「浮いた負担金をぜひ、有意義な奉仕活動に回してください。」というガバナーのお言葉です。今回の訪問を受けていろいろ勉強させて頂きました。

話は変わりますが、2月のロータリー特別月刊は世界理解月間です。多くのクラブはこの機会を利用して国際社会への奉仕活動を始めたり、他の国のロータリークラブとの接触を行ったりします。

この後、ロータリー米山記念奨学会委員会の時田委員の卓話があります。

当クラブは、他の国ではないですが、日本国に触れるということで、本日の卓話は、特別月間にふさわしい卓話ではないかと思えます。

時田委員この後、宜しくお願い致します。

幹事報告

吉田 朋令 幹事



- 大多喜RCから50周年記念例会開催のご案内が来ております。
日時 平成25年3月5日(火) 13:00
場所 九十九里ヴィラそとぼう
登録料 5,000円
- 若潮RCから「第5回青少年ゴルフミーティング」のご案内が来ております。
日時: 3月28日(木) 9:00~
場所: 北谷津ゴルフガーデン
募集人員: 50~60名 見学のみでも可
- ロータリー手帳の案内が来ております。
1部630円 申込締め切り2月25日です
ので、ご希望の方が事務局まで。
- 下期の会費、数名の方が未納ですのでお心当たりの方は宜しくお願いいたします。

2月のお祝い

誕生日祝い



原田会員 高山会員 吉田(宏)会員

結婚記念日祝い



田中仁一会員

委員会報告

親睦委員会 田中仁一委員長



12月10日に行われました忘年家族例会の決算をご報告します。

収入の部

特別会費 10,000×34名	340,000
同伴家族会費 10,000×10名+	105,000
5,000×1名	
ゲスト会費 10,000×6名	60,000
交換留学生分 10,000×2名	20,000
例会費より	40,200
合計	565,200

支出の部

飲食費(ニューオータニ幕張)	420,000
アトラクション出演料	120,000

音響照明費	21,000
出演者弁当 4名	4,200
合計	565,200

参加者計46名

ゲスト卓話

米山奨学生

イピュサン 様



自己紹介

皆様こんにちは、

改めて自己紹介させていただきます。私はイピュサンと申します。ミャンマーから参りました。現在柏市にある麗澤大学経済研究課で博士2年生として在籍しております。今年の4月から米山記念奨学会の奨学生として推薦されて、ロータリークラブの皆様、そして松戸ロータリークラブで大変お世話になっております。改めて今後とも皆様宜しくお願い申し上げます。本日、千葉東RCで卓話の機会を頂きまして誠にありがとうございました。

母国について

まず母国について少し紹介したいと思います。

ミャンマーは中国、東南アジアと南アジアとつながっている。北に中国（雲南省）、西にバングラデシュ、北西にインド、東にタイ、ラオスの各国との国境を接しています。1988年にミャンマーの民主化運動のクーデターにより、国軍は権力を握りました。その後、軍政府はミャンマーの経済体制を全面的に大転換し、これまでのミャンマーの社会主義計画を廃棄し、対外開放、市場経済という経済体制へ移行しました。旧首都はヤンゴンですが、2006年10月によりミャンマー中部にある

場所ネピドー(Naypyidaw)に移行しました。使用言語はミャンマー語です。宗教は仏教です。日本より役1.8倍の広さです。

ミャンマーと言えばアウンサンスーチ、ビルマの豎琴や独裁社会というイメージしかなかったですが、最近メディアなどの取り上げにより投資対象として注目が集めるようになりました。

ちなみに私の出身地はミャンマー南にあるペー（Myeik）という港町です。日本では言うところの沖縄みたいなところです。両親現在でもその町で仕事をしており、私たち兄弟には教育のため中学生のころからヤンゴンにいるおばさんのところに預けました。

留学の動機

日本への留学するきっかけは大学生ごろある女性の日本語を使用して働いている姿に魅力されたことと、現在在学中学校のハンドブックをみて日本の環境良さ、緑の多さに惹かれたことがきっかけでした。日本にきてから言語はもちろん、食事、気候、文化などの違いに戸惑いながら、それを受け止めように自分自身と戦う日々でした。時が立ち、今は日本は私の生まれ育ちところになっております。子供っぽい、わがままな女の子から、責任を持つことができる大人女性として私を育てました。つまり、私はミャンマーで生まれ日本で育てられたんです。

私は2006年に日本に来て今年で来日6年目になりました。麗澤大学に付属する別科日本語研修課程で日本語を1年間勉強し、そこから経済学研究生、修士、そして現在博士課程まで辿り着きました。また、3年前に同大学で出会った中国（大連出身）旦那と結婚し、現在は2児の母親です。2歳半の長女と生まれたばかり4ヶ月の長男と4人家族です。

この6年間、日本で初めての一人暮らし、大学院に進学、そして結婚、出産・・・留学生または女性として、いろいろな人生体験を致しました。もちろん、日本での辛い思いがたくさんありましたが、家族と周りの方々のお陰で今日の私がいます。特に子供の出産によって、日本の良さを改めて再認識することができました。外国人の私に差別な

く日本政府からの手当てなどを頂いて、日本国の平等さと公平さに本当にびっくりしました。皆様の大切な税金ですから、感謝と申し訳ない気持ちでいっぱいです。その気持ちを心がけながら子供たちを大事に育てていきたいと思っております。

ロータリーとの出会い

また、私とロータリークラブとの出会いは南柏ロータリークラブが主導する柏市光が丘小学校の子供たちと麗澤大学留学生との交流会です。そのときから南柏ロータリークラブの妻島様からも大変お世話になっております。また奨学生になって、生活上の経済的負担が軽減され、研究に専念することができました。また奨学生になってからもカウンセラーの松田様ご夫妻と太田様からも私の精神面、私生活まで様々な面で面倒みていただいております。本当に助かっております。例会を出席するたびにロータリーアンさんの卓話を通じていろいろ勉強になっており、毎回刺激を頂いております。職業を通して社会貢献へと目指しているロータリークラブの方針には感謝、その方針を学び私も、将来世の中に貢献できる能力を身につけたいと決心しましたロータリークラブとロータリーアンの皆様との出会いは私の人生の宝ものとして今後も大事にしていきたいと思っております。

日本での留学生活を得て、人生にとって大事なことを日々の生活中から学んでいます。その中から私が一番感心したのは日本人の和の心です。もちろん日本には素晴らしい文化や世界に誇る技術などたくさんあります。人のよさも世界で誇れる一つのソフトパワーではないかと私は思っております。謙虚な性格、細かさやまじめさ、マナーの尊重、周りへの気配りや配慮などは世界どこにもない日本人の良さだと私は思っております。日本で生活したからこそわかる日本と日本人の良さを日本国は今後世界にもっとアピールしなければならぬと私は思っております。その心は日本のものづくりに関わり、それらを世界に発信することで、日本経済の再建のために大事になってくるのではないかと私は個人的に考えております。日本は近年経済も低迷し、東日本大震災も経験し、日本人一人ひとりも人と人の繋がりや絆の大切さを改め

て実感しています。世界にもその大切さを伝える必要があります。

研究紹介

また私の研究について少し紹介したいと思います。

貿易の自由化と国外資本を受け入れるという経済改革を実施しました。また、民間企業の参入も認めることで、これまで隣接国々と密接的に行った国境貿易も認められようになりました。

1989年にタイとの国境協定を結ばれたことにより、中国、バングラデシュ、インド各国間で国境貿易が開かれました。その後も政府は国境間の少数民族反乱や他の反乱軍との停戦に成功し、それはミャンマーが隣接諸国との経済関係を強めることのきっかけとなりました。今ミャンマー経済は隣接国々との関係なしに国内経済は成り立たないと言えます。

以上のことを踏まえて私の現在私の研究について、ちょっとご紹介したいと思います。まずは、アジア開発銀行（ADB:Asian Development Bank）の主導により発足された、GMSプログラムについて言及したいと思います。

（GMSプログラム＝メコン流域の経済開発と発展を促進する経済協力プログラム）

GMSプログラムは主に域内経済回廊のインフラ整備、そして国際貿易を円滑化させるために欠かせない人材育成と民間セクター競争強化、さらに域内の持続可能な開発を確保する環境保護等を支援するものです。また、そのプログラムはメコン川流域の国々で域内協力の拡大と深化に寄与し、それが相互依存を強化させて均等的な経済発展が促されることが期待されています。

GMSプログラムはミャンマーが隣接国々との経済協力、地域協力への踏み出すための契機となったとも考えられます。1997年にミャンマーはASEAN(東南アジア諸国連合)に加盟し、隣接国々との貿易を強化しました。国境貿易の拡大のもう一つの要因として、現政府は中国（5カ所）、タイ（4カ所）、インド（2カ所）、バングラデシュ（2カ所）との国境貿易協定を結び、両国間の国境取引がスムーズに行うために国境貿易事務所の設置など実施しました。しかし、国境貿易の拡

地区委員卓話

ロータリー米山記念奨学会委員会 寄付金担当
時田 清次 様



こんばんは。イピュサンさんは米山の奨学生は中国の方が多く中ミャンマー出身という事です。日本は今、ミャンマーへの経済投資をしているところで、日本とミャンマーの架け橋に是非なっていたきたいと思えます。

私は一昨年までR財団委員会の世界平和フェローのカウンセラーをやっていました。私の一期前が得居ガバナーがやっています、そのような関係で一年間やってほしいと依頼されました。

米山奨学会の現在の数字的なことですが、千葉東さんは11月時点では昨年度より良い成績になっております。全体的にも皆様のご協力のおかげで前年度よりも寄付金が多い形で推移しておりますので改めて感謝いたします。

米山奨学金の現状での事業収入ですが、2011年度の決算では寄付金が約13億円、それに対して奨学金と補助金が約14億円です。したがって1億円の持ち出しとなっております。不足分は特別積立財産から取り崩し補っております。そのためここ5年ほど奨学生数は800人ほどでしたが、特別積立財産の最低ラインが25億円になっておりまして、これ以上は取り崩しが出来ないという事で今年度から奨学生数を800人から700人に減らしております。2790地区は前年度27名の奨学生が採用されましたが、今年度は23名です。4名減と言う事です。6名が2年間の奨学生なので今年1月19日に新奨学生の面接を行ったのですが、17名の合格者が決まっております。当初留学生の選考の目安を決めまして、一つの国の留学生が多いのも良くないのではない

大は国境貿易に関する正確な統計データの把握が困難であることは現実政府が直面している課題でもあります

私の研究は国境貿易が拡大することによって、国境間の密輸入と輸出によつての経済活動はミャンマーの経済効果に影響を及ぼしてゐるのではないかを明らかにすることです。それを把握するために国境貿易市場、労働市場と金融市場の三つの視点から考察し、それらの経済活動を比較してミャンマー経済についての影響力を統計データによつて分析し、明確にすることです。私の研究目的はその結果を踏まえてミャンマー経済成長のための国境管理体制と開放経済政策について出張することです。

現在、ミャンマーは軍人政権から民主化を進み、現実的な開放経済を実現しています。豊かな資源や人件費の安さなどはアジアで残された有力な市場として、また投資対象として注目されています。今年ミャンマーへの入国する日本人の数は中国を超えて第2位にランクインされています。現在、ミャンマーでの日本企業は多く存在しており、熟練した労働力不足や地元との文化摩擦などを日本企業は直面しています。たびたびに賃金向上のために地元労働者らがボイコットを起こしました。私自身も留学して、文化の違いなどに時々なやまされました。納得するまでも結構時間がかかりました。それらの経験に踏まえて、ミャンマー人として、真の日本人の心とその精神を現地の人々に気づかせることがとても大事ではないかと思っております。将来ミャンマー人にも良き日本人の心と強い精神を学ぶことができ、自国の経済発展に貢献できると私は確信しております。今後自分も日本とミャンマー両国の友好と発展にその精神を忘れずに貢献したいと思っております。

感謝の気持ちは言葉で表現することはとても難しいが、この場を借りて、この卓話の機会を提供して下さった時田様にも感謝したいとおもいます。今まで私を支えてくれば皆様、これからも支えてくれる皆様、そして日本国民の皆様へ感謝の意を表したいと思っております。皆様本当にありがとうございます。

ご静聴ありがとうございました。

かと、一つの国の割合を30%以内にしようという事と、ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加し、将来は母国と日本の親善を深めようという使命感のある人を選んでおります。そう言っても中国からの留学生が多いので、その中でモンゴル自治区、ウイグル自治区を別枠と考えた結果、中国の漢民族の方が5名、ベトナム2名、モンゴル2名、モンゴル自治区1名、ウイグル自治区2名、インドネシア1名、タイ1名、マレーシア1名、韓国2名の17名を選んでおります。ただ、辞退される方もいるかもしれないので変動があるかもしれません。

このようになるべく色々な国からの留学生を応援していこうという形で進めているところです。

もともと使命としてアジア周辺の留学生を採用して平和な日本を肌で感じてもらおうという事が一番の目的ではありますが、これからはアジア近辺だけではなく中東、アフリカ、ヨーロッパの国からも採用できるように2790地区で制度とする申請をいたしました。これからは色々な国からの採用も進めて行きたいのでその辺を理解していただきこれからも米山記念奨学事業への支援を宜しくお願いいたします。



米山委員 時田様

イピュサンさんの卓話をお聞きくださりありがとうございます。今後ともご支援をお願いします。

高山会員

誕生のお祝いありがとうございました。プロゴルファーなら4アンダーなのでよいのですが。

初山会員

2回程休み申し訳ありません。

原田会員

誕生日祝い、ありがとうございます。

吉田(宏)会員

お誕生日プレゼントありがとうございました！56才になります。

李 会員 ………

岩田会員 ………

高柳会員

イピュサン様 卓話ありがとうございます。

小川 会員 ………

武田(孝)会員

ガンバリマス

飯田会員 ………

佐藤会員 ………

辻 会員

イピュサン様 時田様 卓話ありがとうございます。した。

田中会員 ………

吉田(朋)会員

本日はイピュサンさん、時田様 ありがとうございます。

鳴海会員

今年は寒いのでみなさま、お体に気をつけてください。

市原会員 ………

計 68,000円

累計 1,351,550円

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 小沼 和浩

■創立:1991年1月21日 ■認証:1991年3月6日 ■例会場:ホテルニューオータニ幕張 ■点鐘:毎月曜日 18:30

事務局:千葉市稲毛区穴川 3-5-27 上総ビル 303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp